



答辞を述べる伊藤さん＝安房医療福祉専門学校で

32人が看護の道へ門出

安房医療福祉専門学校で卒業式

館山

館山市腰越にある安房医療福祉専門学校(水谷正彦学校長)の卒業証書授与式が7日、同校の小池ホールで行われた。看護学科の4期生32人が地域を担う医療人として歩み始めた。

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して、卒業生と教職員のみでの参加とするなど、規模を縮小して実施された。はかまやスーツと

いった晴れ着姿の卒業生らが一人ずつ登壇し、水谷学校長から卒業証書と専門士称号の授与を受けた。県知事賞などの表彰もあった。

水谷学校長は式辞で、「卒業は看護師としての始まり。皆さんが進歩を続け、患者さまからの感謝の言葉をいただける喜びにたくさん出会うことを願います」とはなむけの言葉を贈った。

べ、3年間の学びを振り返った。ときおり、涙で声を詰まらせながら「患者さまの人生のひとつに関わらせていただいたことに感謝し、『看護師になる』と誓った初心を忘れずに、日々成長できるように励む」と語った。

卒業生らは、教職員の見送る花道を、希望に満ちた表情で歩き、それぞれの道に進んだ。各表彰者は次のとおり。

- 伊藤明日香さんが、代表して答辞。「一人の力で乗り越えられたわけではない」と、教職員や指導者、仲間、家族らへの感謝を述
- ▽県知事賞 宮下巴
- ▽県看護協会会長賞 柳川諒
- ▽理事長賞 近藤佑香
- ▽学校長賞 大森幸穂

